

施策：小・中学校教育の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名：フッ化物洗口推進事業	現状維持	予算額	1,515 千円
			《 1,770 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	514 千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	1,001 千円

【事業の目的・概要・対象】

＜目的＞

定期的なフッ化物洗口を実施することで、むし歯予防のさらなる促進と生涯を通じた歯の健康づくりに対する児童及び保護者の意識の高揚を図る。

＜概要＞

実施校において、本人及び保護者が希望する児童に対して、週1回実施する。

○実施予定校は、順次拡充する予定である。（中学校における実施に向けて）

平成29年度 15校（市内全小学校）

平成30年度 17校（市内全小学校＋玖島中学校・萱瀬中学校）

平成31年度 21校（市内全小学校＋市内全中学校）

＜対象＞

市内小学生全児童のうち、保護者がフッ化物洗口を希望する児童

【背景】

平成25年度より事業をスタートし、平成26年度に2校、平成27年度に7校、平成28年度に市内全小学校15校と計画的に実施環境を整えてきた。来年度より中学校において順次実施を行っていく。

担当課	学校教育課	問合せ先	0957-53-4111(内線366)
-----	-------	------	---------------------

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	フッ化物洗口実施校数	校	15	15	17	21	21
②	フッ化物洗口実施者数	人	6,144	6,180	6,635	9,156	9,156

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	フッ化物洗口実施率	%	95	100	100	100	100
②	DMFT指数(中1)	本	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	27	252	1,535	1,770	1,515	1,515	6,614
国庫支出金							0
県支出金			698	885	514	514	2,611
地方債							0
その他							0
一般財源	27	252	837	885	1,001	1,001	4,003
人件費	1,661	1,561	1,454	727	727	727	6,857
職員	0.20人	0.20人	0.20人	0.10人	0.10人	0.10人	0.90人
時間外勤務	75h	75h					150h
嘱託員							0.00人
フルコスト	1,688	1,813	2,989	2,497	2,242	2,242	13,471

妥当性 (市の関与)	第二次大村市歯科保健計画に基づき、児童期のむし歯予防対策を市が積極的に推進する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	フッ化物洗口の実施により、進んでむし歯を予防しようとする習慣が身につく、ひいては健康教育の推進につながるものである。
効率性 (コスト)	フッ化物洗口は、希望者のみの実施であり、今後推進していくうえからも実施希望者から経費を徴収することは難しい。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり